

2026年度 前期教育計画

面接指導施設名	科学技術学園高等学校			
教科	科目	単位数	履修上の留意点	担当者
理科	生物基礎(2A)	2		本校教員・スクーリング講師
指導目標				
<small>・日常生活や社会との関連を回りながら生物や生物現象への興味・関心を高める。 ・DNAなど現代生物学の基盤となる内容、ホルモンや免疫など健康にかかわる内容、生態系など環境の科学的な理解に資する内容 について学ぶことを通し、学んだことを生活や将来に活かしていく。</small>				
教科書名	高等学校 新生物基礎	副教材等	本校作成学習書	
面接指導 (スクーリング)	全実施時間数 23 時間	レポート添削指導	全 6 回	
	標準面接時数 8 時間	メディア減免時数	4時間	
定期試験	あり	年間・学期	1 回	評価割合 定期試験 70% 添削課題 30%
評定算出方法	評点が100～85点は5、84～70点は4、69～50点は3、49～35点は2、34～0点は1			

レポート添削課題		
回数	学習内容	提出期限
1	生物の特徴	5月10日
2	遺伝子とその働き①	5月25日
3	遺伝子とその働き②	6月10日
4	ヒトのからだの調節①	6月25日
5	ヒトのからだの調節②	7月10日
6	生物の多様性と生態系	7月25日

面接指導(スクーリング)		
時間数	学習内容	実施日
1	ガイダンス、第1章 生物の特徴 学習目標・中学校の確認	4月14日
2	生物にみられる共通性、生物の共通性の由来	4月21日
3	細胞構造の共通性	4月24日
4	エネルギーと代謝、代謝とATP	4月28日
5	代謝と酵素、光合成と呼吸、第1章 生物の特徴 まとめ	5月1日
6	第2章 遺伝子とその働き 学習目標・中学校の確認、染色体・DNA・遺伝子	5月8日
7	DNAの構造、DNAの複製、DNAの分配	5月12日
8	タンパク質の構造と働き、遺伝子の発現とタンパク質合成	5月15日
9	細胞と遺伝子の働き、第2章 遺伝子とその働き まとめ	5月19日
10	第3章 ヒトのからだの調節 学習目標・中学校の確認、恒常性と情報の伝達	5月22日
11	神経系、自律神経系の働き	5月26日
12	ホルモンの働き、血糖濃度の調節	5月29日
13	体温の調節、からだの調節と血液の働き	6月9日
14	病原体からからだを守るしくみ、獲得免疫のしくみ、獲得免疫の特徴	6月12日
15	免疫と疾病、免疫と医療、第3章 ヒトのからだの調節 まとめ	6月16日

16	第4章 生物の多様性と生態系 学習目標・中学校の確認、さまざまな植生、植物と環境	6月23日
17	植生の遷移と環境、植生の破壊と遷移	6月26日
18	遷移とバイオーム、日本のバイオームと気候	6月30日
19	生態系、生物どうしの関係、生物どうしの関係と種の多様性	7月7日
20	生態系のバランスと攪乱、人間活動による生物の持ち込み、生息地の破壊、生息地の分断化	7月10日
21	生態系の保全とその意義、第4章 生物の多様性と生態系 まとめ	7月14日
22	総まとめ	7月14日
23	総まとめ	7月17日

試験		
試験種別	試験範囲	試験日
本試験	レポート添削課題 第1回目～第6回目	8月19・20日
追試験	レポート添削課題 第1回目～第6回目	8月25・26日